

看護学科

1年

科目名: 小児看護学概論				担当教員 氏名: 矢野恵子、古里直子	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 後期	専門科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:					
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード	
①小児の特徴と小児看護の概念を理解する ②小児各期の子どもの成長発達、家族の特徴を理解する ③身体的・心理社会的発達とそれをサポートする家族・社会システムと課題を理解する。				発育・発達・成長 子どもの最善の利益 子どもと家族 発育の評価	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (短縮マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 6. 7. 8.	
A 知識・理解力	正常な子ども成長・発達を理解し、さまざまな健康レベルの知識を獲得する				
C 論理的思考力	子どもの身体的・心理社会的成長発達とそれをサポート役割・支援のあり方を整理する				
D 問題解決力	「子どもと家族の最善の利益」について考え今日の課題について理解する				
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 60 %	レポート: 40%	発表: %	実技試験: %	その他: %	
特記事項: 本科はアクティブ・ラーニングの一環としてグループワークを取り入れ、小児と家族の思いを体験しながら進める。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、デイベー <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワー ク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業終了後の確認レポート・授業では課題レポート提出し、第8回目以降に授業評価としてテストを実施する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 事前課題やレポート提出後コメント等を返し、フィールドバックする。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容		学習に必要な時間(分)
①【矢野、古里】小児看護の特徴と理念			【予習】小児の状況を知る 【復習】小児看護の目標 子どもの権利とは	【予習】60分 【復習】60分	
②【矢野】自己の成長を振り返る・母子手帳の活用			【予習】こどもの頃を思い出してみる 【復習】小児の成長・発達の特徴を述べられる	【予習】60分 【復習】60分	
③【矢野】小児の成長発達 発達の原理原則 成長発達に影響する因子 発達の評価			【予習】前期の「代謝と栄養」を確認 【復習】小児の栄養と成長・発達の評価法を述べられる	【予習】60分 【復習】60分	
④⑤【矢野】発達段階別的小児とその家族の特徴と看護、アセスメント			【予習】第4章～第6章 小児の発達の特徴を知る 【復習】乳児期～思春期・青年期までの基本的な成長・発達の理解	【予習】60分 【復習】60分 【予習】60分 【復習】60分	
⑥【矢野】小児の発達と愛着形成			【予習】小児期における愛着形成前回の講義を振り返る 【復習】体験から愛着形成の過程を進化させる	【予習】60分 【復習】60分	
⑦【矢野】小児の栄養			【予習】第3章熟読、 小児の栄養の授業を振り返る 【復習】小児の栄養の実際から食事の特徴の理解を深める	【予習】60分 【復習】60分	
⑧【矢野】小児と家族を取り巻く社会の理解、小児看護の課題、まとめ			【予習】第7⑧章熟読、 小児と取り巻く社会状況を新聞から読み解く 【復習】保健・福祉・教育・地域との関連の理解授業内容の確認とまとめ	【予習】60分 【復習】60分	
授業との進捗により内容を変更します、必ず事前に掲示板を確認ください					
使用テキスト: 系統看護学講座 小児看護学① 医学書院 ISBN 978-4-260-02002-2			その他参考文献など: 授業の中で示します。		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ・日常生活の中で小児とその家族が置かれる状況を理解する。また身近な子どもやその家族に関心を向けて観察してみよう。 ・「子どもの最善の利益」を目指した、小児看護の役割・支援のあり方を考えていきましょう。 ・知識として、看護師国家試験の過去問題レベルの理解は単位認定には必要不可欠な条件です。					